

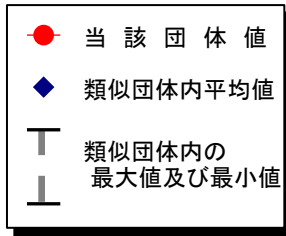
(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成24年度

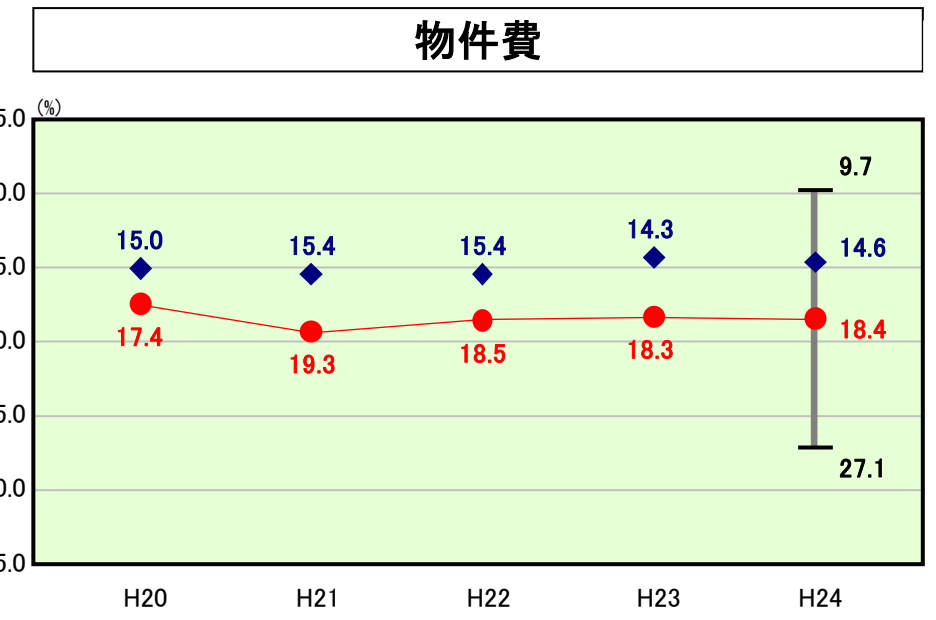
愛知県東海市

経常収支比率の分析

人口	111,362人	(H25.3.31現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	110,110人	(H25.3.31現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	43.36	km ²	実質公債費比率	5.8%
歳入総額	44,797,392	千円	将来負担比率	4.9%
歳出総額	42,582,264	千円		
実質収支	1,939,875	千円	市町村類型	H20 III-2 H21 III-2 H22 III-2
標準財政規模	26,751,887	千円	(年度毎)	H23 III-1 H24 III-1
地方債現在高	20,032,048	千円		



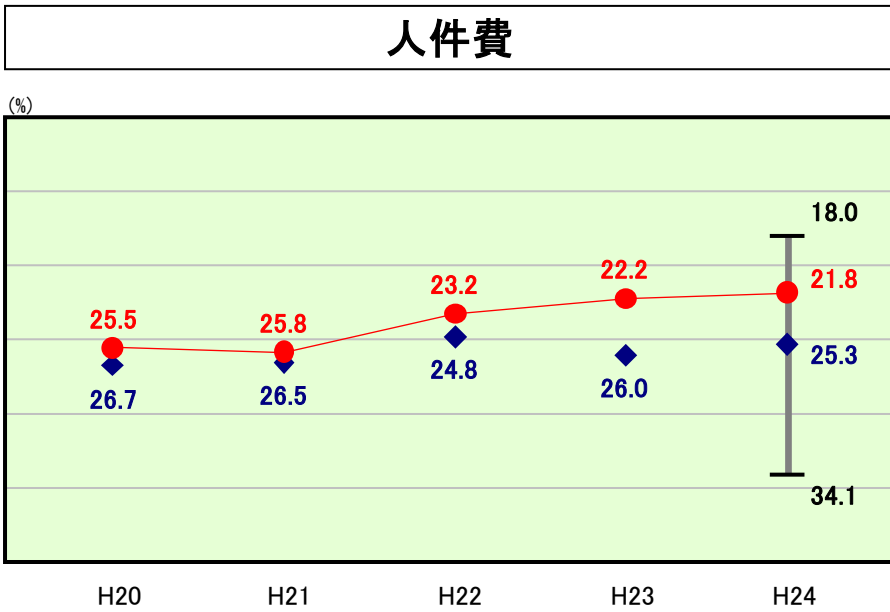
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。



類似団体内順位 77/88 全国平均 13.3 愛知県平均 15.4

物件費の分析欄

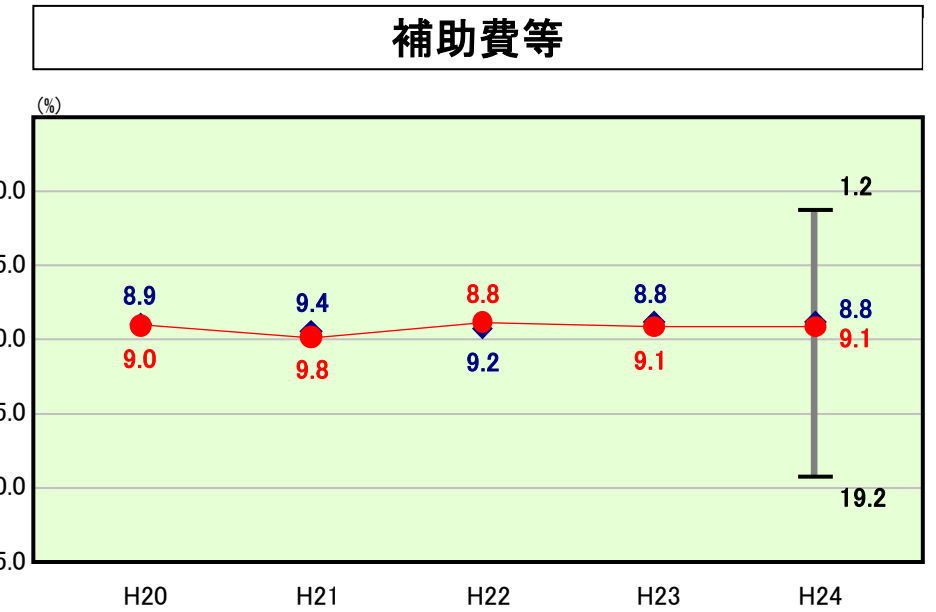
物件費における経常収支比率については、前年比0.1ポイントの増となっており、類似団体平均を大きく上回っている。主な要因としては、賃金や委託料の伸びが大きいことである。今後も各種業務の外部委託化の推進が見込まれることから、物件費の経常収支比率は伸びるものと思われる。消耗品などを節約し、少しでも経常経費が増えないよう努める。



類似団体内順位 16/88 全国平均 24.8 愛知県平均 24.3

人件費の分析欄

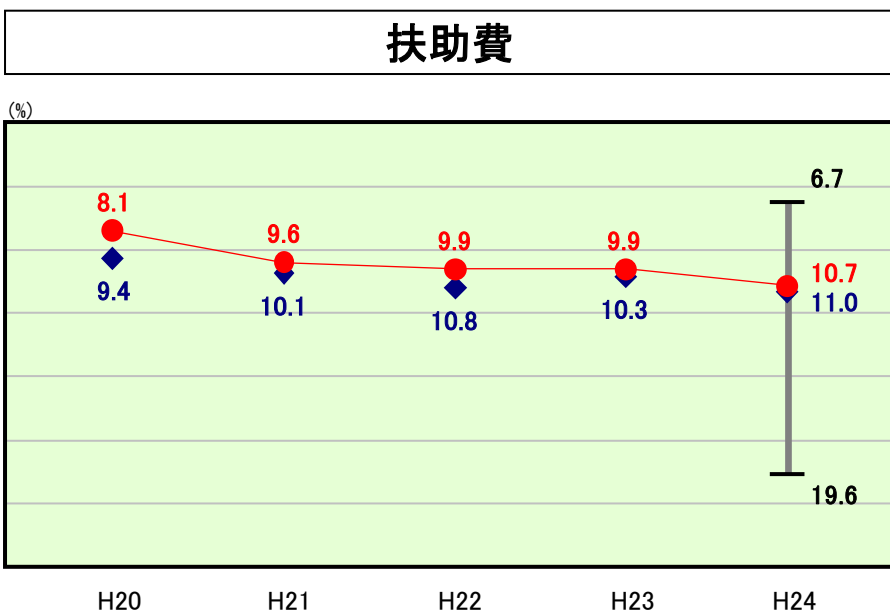
人件費における経常収支比率については、平均年齢の低下等に伴う人件費の減等により前年度と比べ好転した。類似団体平均をやや下回っている。要因としては地方税の占める割合が類似団体より高いためである。今後も集中改革プランにより定員管理の適正化を推進し、人件費の抑制に努める。



類似団体内順位 46/88 全国平均 10.1 愛知県平均 11.8

補助費等の分析欄

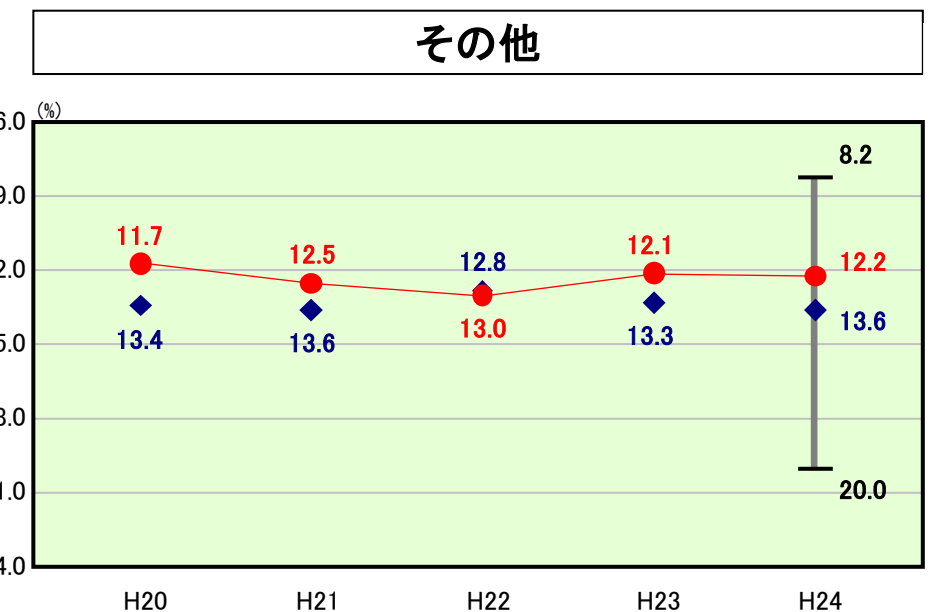
補助費等における経常収支比率については、前年度と同数値であり、類似団体の平均を若干上回っている。今後は、補助金交付の対象基準をより明確にし、補助金の適正な執行を図るものとする。



類似団体内順位 43/88 全国平均 11.2 愛知県平均 13.2

扶助費の分析欄

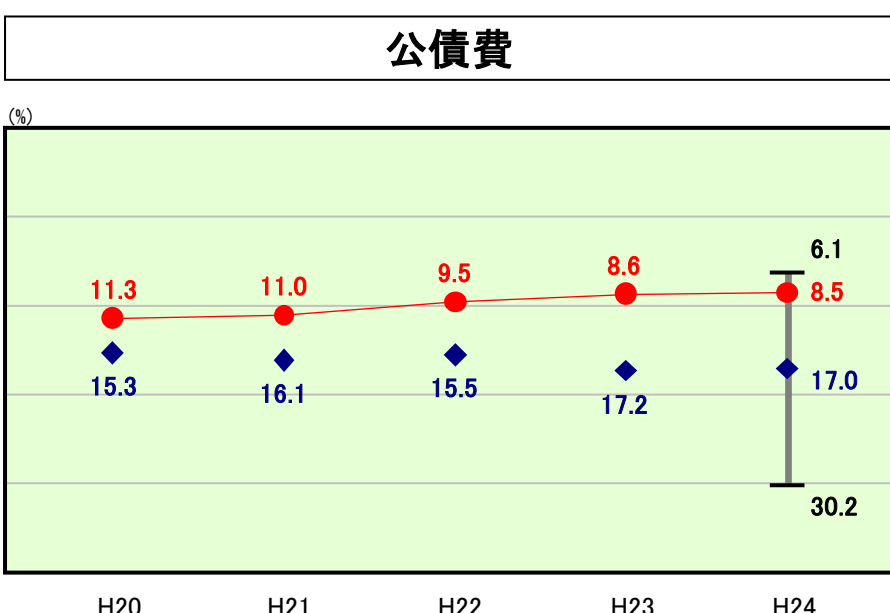
扶助費における経常収支比率については、類似団体の平均をやや下回っているものの、前年度比0.8ポイントの増である。依然として増加傾向にある。



類似団体内順位 30/88 全国平均 12.5 愛知県平均 10.8

その他の分析欄

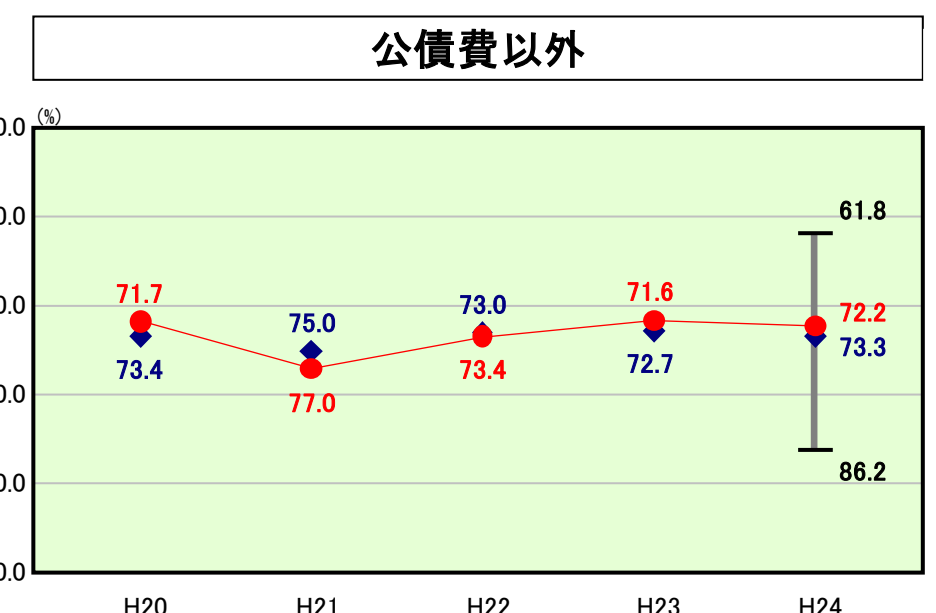
その他は維持補修費と繰出金である。前年度比0.1ポイントの増となり、類似団体平均を下回っている。増加の主な要因は、国民健康保険事業特別会計繰出金、後期高齢者医療事業特別会計繰出金等の増によるものである。



類似団体内順位 4/88 全国平均 18.8 愛知県平均 15.7

公債費の分析欄

公債費における経常収支比率については、前年度比0.1%の減であり、類似団体平均を下回っている。要因としては、各種事業債の償還終了となったこと等によるものである。今後も社会教育施設整備等の起債事業の増加が見込まれるが、事業内容を精査し抑制に努め、市債の借入れに配慮して、財政運営を図る。



類似団体内順位 35/88 全国平均 71.9 愛知県平均 75.5

公債費以外の分析欄

公債費以外の経常収支比率については、前年度比0.6ポイントの増となり、類似団体平均を若干下回っている。増加の主な要因は、扶助費の増であり、障害者福祉サービス給付費に係る施設利用者の増加等により増となっているものである。今後は、類似団体平均を大きく上回る物件費の抑制を図るなどして、経常経費が増えないよう努める。